

刊夕日八廿月九



定価 一部全五... 発行所 東京市... 電話 六二〇〇

### 戌辰の覺書

頃日連載の戌辰の回顧は主として當地方に關係深き部分を會津戌辰戦史より要約して抜粹せるものなるが平藩に於ては戦争直後藩士として其の家歴を留書して提出せしめしもの數十部に上り、此の中當時要路に在りし參政添原市郎左衛門昌安記載のものは最も出色のもの認め複寫して久しく篋底に藏せしが此の機を利し之を貴紙に寄す。文中の肩書は其の儘本文へ連ね割注は上下に點線を施し置けり。

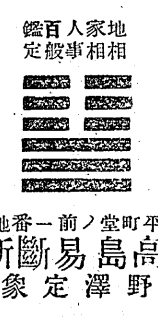
平陽老人

一九條様白川江向御出陣可相成旨にて仙兵隊爲討會日々繰出に相成候  
 一 四月朔日漆原市郎左衛門外三人仙臺表出立同月五日平に歸着仕候林悌之助は駒ヶ峯驛迄同行候處同所にて美濃御領分豊田兵吾 澤様御家來分に相成居候趣に付罷出御上知之儀に付周旋可仕旨にて罷越候段申聞候に付前書の通御家來中に面會不相成次第に付罷越候とも無詮事可有之旨申候是迄遠路來候事に付是非罷出可申旨に付悌之助立戻召連申候

出立跡より漆原市郎左衛門同處に出立桑折驛に仙藩出納司松枝兵衛、松枝廣八郎出張に付御上知村々幕府江是迄歎願之上引渡御猶豫に相成居候處此度 御鎮撫使御下向に相成候に付ては御猶豫歎願御執成被下候様仕度罷出候且先達て美濃國領分尾州様に御預けに相成候件々苦情申述口上書差出候

### ノット

火傷には すぐに椿油か胡麻油を塗るとよい活鹽水をつけると痛みも取れ治りも早い  
 處近日 中將様白石江御着被成候間申達周旋可致旨沙汰次第此方より可申進旨松枝廣八郎申聞候間同十四日同所出立十七日平表江着仕候



九月廿九日戊戌五黄大安除  
 【一白】營業上警察の咎めを受けぬ様又水火の難も注意南北凶【二黑】家内に病人出來るか親戚にあるか又怪俄紛失にも注意未申丑寅凶【三碧】酒色の爲め家内に不和を引起す事あれば萬事控

目が吉東西凶【四綠】金錢問題より目上と意見衝突を起さぬ様辰己と成亥が凶【五黄】萬事凶の日なれば進んで凶退き守るに吉なれば病氣怪俄に注意【六白】金談縁談に奔走して吉事を得る日戌亥と辰己は凶なり【七赤】望事に奔走して吉を得ると雖も約束事は明日が吉東西凶【八白】病氣怪俄盜難に注意して現状維持が吉なり未申丑寅凶【九紫】吉が凶に變ずる事あれば水火の難に注意して猛進する勿れ

看護婦急派の求めに應じます  
 平町南町  
 平看護婦會  
 電話三〇七番

秋!  
 爽やかな秋の旅を不二の車で  
 日光鬼怒温泉附近案内一部差上げます  
 不二タクシー  
 電話 32番

外科 X光線科  
 性病科  
 科  
 意隨院入  
 平町田町  
 安齊外科醫院  
 電話四七五番

喜多流謠曲と仕舞の  
 お稽古をお勧め致します  
 平町六九  
 喜多流 謠曲 仕舞 白土會  
 詳細は本會へ御問合せ下さい。

夏から秋へ!!!  
 「衣裳御着替」  
 特に勉強致します  
 旭屋 一六銀行  
 平三丁目 電話四二五番

一本日質品  
 太陽顔ソーラー  
 御存知ですか!  
 太陽顔ソーラーの  
 快味を!!!  
 是非御試下さい  
 平一丁目(電話三三三番)  
 小川屋本店  
 平各販賣店

時代ハ有價證券デス  
 手輕ナ理想的六分五厘配當當社ノ御利用ヲ乞フ。  
 簡單ニ金融モ致シマス。  
 各地出張所代理店募集。  
 高級社員招聘  
 帝都證券株式會社平支部  
 平町白銀町松崎ビル内  
 東京モリス會社トハ全然別會社デ關係有リマセン  
 誤解ノ無イ様願ヒマス。

玉炭 平驛前  
 石炭 阿部石炭商店  
 コークス  
 電話 三七番

# 記録破り

## 出でよと期待

### 明日磐中の水上競技

磐中水泳部では既報の如く明日午後一時より校内水上競技大会を催すが左記同校の最高記録を破つて新記録を出すや否や期待を掛けられて居る

- △自由型(二十米)十二秒
- 八瀬谷春雄(五十米)二十秒
- 八秒九管野正雄 濹谷春雄(百米)一分七秒菅野正雄(二百米)二分三十五秒
- 濹豊春雄(四百米)五分十二秒
- 四秒同人(八百米)一分二十一秒
- 八同人(千五百米)二分三十三秒
- 同人
- △平泳(二十五米)十七秒

- 志賀貞輔(五十米)三十六秒
- 五秒同人(百米)一分二十四秒
- 四秒同人(二百米)三分九秒
- 同人
- △背泳(二十五米)十七秒
- 二志賀幸雄(五十米)四十一秒
- 二佐藤文雄 水野秀三郎(百米)一分二十九秒
- 六佐藤文雄(二百米)三分二十一秒
- 水野秀三郎(三百米)四分五秒
- 佐藤文雄(四百米)五分五分
- 佐藤文雄(五百米)七分二分
- 中津阿部富岡濹谷同人(八百米)一分十四秒
- 野佐藤水野濹谷同人

# 催し目當に

## 児童等頑張る

平町各小學校では秋の運動シーズンを迎へ夫々の体育的催しを目標として児童等が連日練習中であるがその主な物は左の如くである

- △十月一日第三區児童競技會(磐中校庭)△十月二十九日石城城児童競技會(同)△十月十日第二校秋季運動會(校庭)△十月十五日第三校秋季運動會(校庭)△十一月十九日郡下児童ドッチボール大會(平第一校庭)△十一月廿一日

# 出荷増す

## 四倉の繭市

四倉繭市場昨廿七日晩秋蠶取引は六百四十七貫五百五十匁で最高四十五圓七十七錢、最低三十六圓八十錢、馴四十圓二十二錢で前日相場より幾分安値を見たが相場入り期に入った為め出荷

連日増加して居る

# 青年選手出發

来る十月一日若松市で開催される縣下青年國對抗体育大會に出場のため過般來猛練習中であつた本郡代表競技武道の精銳選手十八名は愈々明後二十日平發午前九時

# 磐中生熱辯を揮ふ

## 明日の辯論大會順序

既報磐中辯論大會は明日午前九時より講堂に於て開會部員芳賀他郷君の開會の辭に次ぎ部長山名教諭の挨拶あり左記の順序に依り各辯士熱辯を揮ふと

- (軍國日本)一年泉已代次(勉強は幸福の母)同信澤定一(未定)同大柴正道(志をなせ)同小松公平(土に歸れ)同野木孝司(大人物)二年吉田都榮(未定)同石橋正己(明治文化を願ひて)同湊徹郎(血潮と我等)三郷會代表四年渡邊仁作(英雄待望論)三年猪狩勝巳(人生の幸福)岳東會代表四年佐藤篤(修養)三年鈴木節長(山河の靈は叫ぶ)千峯會代表五年蛭田禮三(源泉)四年吉田龜吉(未定)螢雪會代表五年佐藤孝志(英語演說)金子橋會五年富田俊雄(曠野の果に)部員眞木林平

# 平商辯論

## 大會を開く

平商業學校では来る十二月三日辯論大會を開催するが音楽部の演奏もある由

# 常設館たより

- 平館 日活時代劇 市川小文治 淺香新八郎主演『辻斬の男』日活現代劇 杉狂児 田村邦男 高津愛子主演『お前とならば』日活時代劇澤田清 花井蘭子主演『龍造寺大助』
- 世界館 新興現代劇 小川國松主演『羊の笑顔』新興現代劇 徳川良子 松本泰輔主演『榮之行く道』新興現代劇 嵐寛壽郎 歌川八重子主演『小笠原壹岐守』

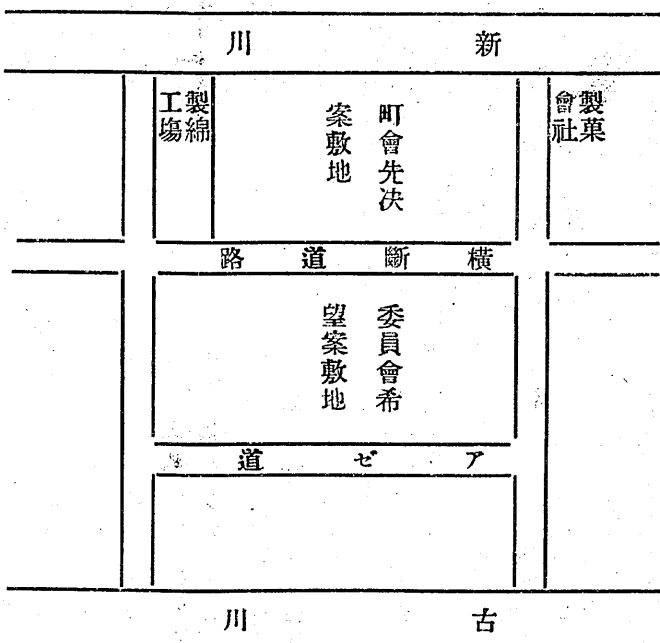
# 第四校敷地の位置

Y生なる論者に説く

## 川崎文治

昨日吉田五平君が來訪の際「新しいわき」に第四小學校の敷地問題に就いてY生といふ匿名で何か書いてあつたと聞き、けふ夫れを入手して、いま讀んで見た。然るに全然失望した事は、此のY生なる匿名の一論者が、問題の核心ともいふべき敷地の位置に就いて何等正確な認識を持たず噴飯に耐えぬ

地は「要するに製菓會社裏の敷地問題に就いてY生といふ匿名で何か書いてあつたと聞き、けふ夫れを入手して、いま讀んで見た。然るに全然失望した事は、此のY生なる匿名の一論者が、問題の核心ともいふべき敷地の位置に就いて何等正確な認識を持たず噴飯に耐えぬ



宇名は小太郎町と堂根町で通りから伸びた道に接して居る、而して南は古川端から廣い處で田地三枚を離る、手前のアゼ道が境ひになつて居る、故に君の云はる古川端ではない、此の敷地の地名は菱川と三崎である、左に略圖を示す

從つて君の云ふ「往復半里もある遠い處」とか足が棒になるとか云つた意見は全然モノにならず問題でない、君は實地踏査したといふが、一體どんな處を歩き廻つたのか實に御苦勞様、な次第である。君の「たゞ余は個人の小さな利害感情に囚はれて三萬大衆の利益を損ね失望を招くを懼るゝものがある」との結論には異議がない、その誠意、ありと、見當違は場所柄も辨へず、見當違ひの議論等をこねる輕卒さは謹むべきである。委員會が何が故に先決案に添はずして新敷地を希望するに至つたか、また其の當否、等に就いては、君が正確に敷地の位置を認識して出直して來る時を待つて是非の議論を交はさうと思ふ。

御愛乗下さい  
シボレーに!  
そは先驅者なり

# 明けかゝる 天を焦がす

## 新川町の火事 原因は取調中

今曉四時頃平町新川町六長小次郎氏所有製板工場より發火細雨降り頻る中を火足早く見る間に

### 同工場を全焼して隣

接せる長屋に燃え移り二棟六戸を全焼した急を聞いて平消防組を始め神谷、草野、飯野、内郷、好間、湯本、平窪等各町消防組も駆けつけ消火に盡力午前五時鎮火したが同方面に火災源發の折柄平署は

### 原因等

に關し目下嚴

## 炭礦の小鼠泥に

### 平署目星が付く

#### 出獄後間もない彼の仕業

最近石城郡磐城入山古河等の各炭礦倉庫で再三小鼠泥の被害を蒙るので平署で捜査の結果去月廿二日宮城刑務所を出獄した石城郡江名町宇野梅次郎(三三)の仕業と睨み炭礦内に潜入して居る見込みで嚴探中である

## 豊年芝居

### 農村が賑ふ

石城郡大野村及び大浦村等

石城有段者會の審査會は來る十月十七日警中道場に於て開く事になつたが審査員は左の如くであると尚ほ平

## 有段審査

來月十七日に

商に於ける希望者は酒井時寛、佐藤慶三郎、高木吉郎の三君である

四段 橋本芳太郎、五段 青木源一郎、四段 鈴木末次郎、四段 牛來不二夫、五段 笠原三彌

## 反物を抱へ

### 窃盗犯捕る

宮城縣三島郡大津村宇蓮花生れ窃盗前科三犯山合初太郎(三三)は昨廿七日石城郡湯本町字上町魚屋大山政雄方に忍入り反物二反時價四圓

## 民間の捕賊

### 赤井でも一家總掛り

赤井でも一家總掛り

昨今民間の手で捕はれる賊が多い、是れは又石城郡赤井村字上小川三七農遠藤喜一方へ去る廿六日夜十時頃忍入り衣類其他の品を窃取して逃走せんとする一名の曲者を家人が発見し附近の

## 父母が戀とるに

### 車中にうづくまる薩摩守

今廿八日午前八時三分平驛着磐越線客車内に十四五才の少年が無賃乗車して居るのを驛員が発見平署に引渡取調べると此の小薩摩守は

## 契約金を

### 途中で紛失

石城郡飯野村大字北白土字

明日の天気 風晴曇半

今夜も明日北東の

伊藤遊遊

山口蓬春

後六〇〇 子供の時間

今晩の部  
後六、〇〇(子供の時間) 管絃樂東京ラヂオオーケストラ 指揮 平野主水  
後六、二五英語講座(六) 岡田實隆  
後七、三〇 講演「ウイタミンCの話」大阪帝國大學醫學部教授 醫學博士

古武彌二郎  
後八、〇〇 喜劇「自力更生」仙臺舞歌伎座より中繼 會我廻家五九郎一座  
後八、四〇 ハーモニカとアッコーデオンハーモニカ 杉原千加士アッコーデオン 古城貴世士  
後八、五〇 連續新講談「安政の大獄」(第二席)

明日の部  
前六、三〇 基礎英語講座(九) 岡倉由三郎  
前九、一〇 料理献立「白魚と海苔入りの玉子焼き」中村光三  
前一〇、三〇 家庭講座「後〇、〇五 映畫物語「肉の蠟人形」生駒雷遊伴奏 指揮 宇賀神味津男  
後二、〇〇 家庭大學講座「現代の大和繪に就て」

飯野聯合運動 石城郡飯野村小學校及び男女青年團の秋季運動會は來月十日午前八時より同校庭に於いて行はれる

山口蓬春  
後六〇〇 子供の時間 童話劇「葡萄祭」 JO AK 唱歌隊  
後六、二五 基礎佛語講座(六) 目黒三郎  
後七、三〇 講演「太平洋會議に現はれたる各國の政策」信夫淳平  
後八、〇〇 ラヂオドラマ「放送文藝作品」東京の入達(櫻井武二作) 伊志井寛 其他  
後八、四〇 連續新講談「安政の大獄」【終席】 伊藤遊遊

## 箕輪村議違反公判

### 證人の申請許可さる

既報箕輪村々會議員小沼末造氏外小沼才太郎、吉田喜一郎、高萩依直、小沼延伸高萩國太の諸氏に對する選舉違反事件の公判は昨日午後一時より平區裁判所に於て關口判事係り清田檢事立會大嶺辯護士列席の下に開廷事實訊問の後辯護士より證人として小沼末造氏の妻女クニ及び小沼富太郎氏の取調べ方申請あつて許可され來る十月十一日第二回公判を開く事に決定二時半開廷した

## 豊岡陸上運動

石城郡豊岡村尋常小學校の秋季陸上運動會は來月四日午前八時より開かれる

## 裁判所だより

△石城郡湯本町大字湯本字三國無職堀内寅治(三〇)同町字天王崎一八機械工岡田

## 見習看護婦募集

(平町某醫院) 姓名在社

## 平町人事

△出生 紺屋町二六 阿相幸三郎 氏 四女秀子  
△結婚 紺屋町四二 當時東京市品川區西大崎一丁目六四三 橋光之助氏(三八)

△山形縣西置賜郡豊田村宇歌丸目黒イチ(三四)  
△死亡 新川町三三 當時石城郡好間村字小館二十 太田照子(三三)

# 銘剣秘又録

【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴 演  
山本英春 畫

第五十一回 血に飢ゆる村正

親分遅かつたね

勘「夫ア然うと清助、次郎左衛門は何處へ行つた」

清「旦那か、旦那は江戸へ行きなすつた、今日全体歸る筈だつたが一日延びたと見える」

勘「ナニ次郎左衛門は江戸へ行つたと、失策な事をしたなア空巢ぢやア仕方なねえ」

秀「何の親分次郎左衛門が居ねえからつて真逆有つたけの金を背負つて行きもしめえ、ヤイ清助サア金のある所に案内しろ」

勘「清助實は今度佐渡の金山が崩れたので水汲人足が失つたに付いて狩込が初まつたんだ、當分佐野に居る事が出来ねえので是れから高ツ飛びをするに就いて次郎左衛門が居たら、幾らか金を借りて行かうと思つて来たんだが、留守ぢやア仕方なねえ、金のある所へ案内をしろ」

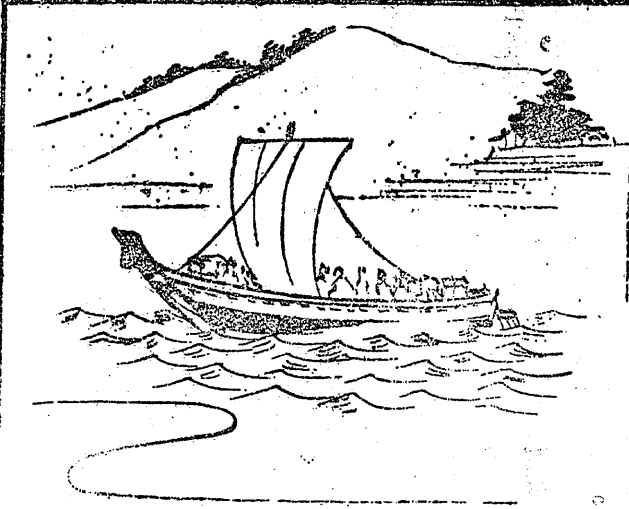
秀「汝愚圖々々すると殺しちまうぜ」

清「オイ冗談いつちやアいかねえ金は旦那の物だ、命は俺のものだ遣らねえとでもいつたら殺すとも何うともするが宜いが幾ら

つたつて構ふものか、奥の土藏へ行つて見ねえ、ドッサリあるだ持てるだけ持つて行きねえ」

勘「ナニ持てるだけ持つてけと、氣前の宜い奴だ」

清「俺の物ぢやアあるめえ



し幾ら持つて行つても旦那が歸つた時に泥棒が這入つて持つて行きましたと云やア濟んで了う、然し金のありさうな所にやアねえよ、家の旦那だつて用心深えから泥棒が這入つて直に持つて行かれるやうな所へ入れちやア置かねえ、俺にも解らねえが、何でも七八千兩

土藏にあるといふ事は聞いて居るから二人で行つて探して持つてきねえ、俺ア眠いから寝て了ふぜ」

秀「ヤイ寝ねえで案内をしろ、手前にも幾らか半丁割けをしてやらア」

清「嫌だ嫌だ、お前達は金を取りに来たんだから取つてもいいが俺ア、旦那の家を飯を食はして貰つて、其の金を一ツでも貰つちやア旦那に濟まねえ」

秀「馬鹿でも義理は知つて居る、それでは親分土藏へ行かうぢやアございませんか」

勘「さうしやう清助、蠟燭は何處にある土藏の中は眞暗だから明火がなければやア分らねえ」

清「そりやいけねえ、俺が一人留守番に居るんだもの火の用心に氣をつけて蠟燭なんざアあるものか、お前達は泥棒でもしやうといふものが、其の支度をし

て来ねえやうぢやアどうせ碌な仕事は出来ねえぜ」

勘「馬鹿に叱言をいはいれりやア残る所はねえや、秀や附木でももつて土藏へ行け」

秀「エー東松をこしらへて参りませう」

と臺所へ行つてソダを縛つてこれへ火を付け先へ立つて土藏へ這入る、續いてメツバの勘五郎も土藏へ這入つて隅々隈まなく探してもビタ一文でも出ればこそ、成程馬鹿の云つた通り何處かへしまひ込んであるに相違ないと二人は頻りに探して居る、跡に残つた馬鹿の清助、煙草をスバ／＼吸つて居ると、表の締りが

ないものでございませうから又二人這入つて来たのが是も犬伏の博奕打腹太の多七子分の熊造を連れて、次郎左衛門の家へ来たのは此奴も幾らかしてやらうといふつもり、見ると清助は煙草を吸つて居るゆゑ

多「清助まだ寝ねえのか」

清「イヤアまた来たな」

多「また来たとは何だ」

清「運かつた」

多「妙な事をいやアがる、又来たの運かつたのと何が何うしたんだ」

清「腹太の親分も佐渡の水汲人足の一件だらう」

多「ソーム何うして知つてる」

清「狩込が始まつたので野州に居られねえゆゑ高飛をするに錢がねえから家へ金を借りに来たんだらう」

多「オヤ此の馬鹿は能く知

つてやがる」

熊「ヤイ家の親分が来る前に誰か来でもしたのか」

清「来たとも、メツバの親分が若い者を連れて来て俺が旦那から預つた金だから勘忍して呉れといふのを聞かねえで、三百兩胴巻へ入れてしまつた」

多「ナニ勘五郎の野郎が先廻りをして五百兩めめた」と

清「又其の上品物をさらつて行くといつて、今二人で藏へ這入つて品物を背負ひ出す所だ、あんなに圖々しい人ぢやアねえと思つたが悪るい方へ掛けると腹太の親分なんざア叶はねえ」

多「とんだ事をしたなア、野郎に五百兩べられて見たら黙つちやア歸れねえ」

清「今茲へ出て来るから二ツ分けにせえな、然しメツバの勘五郎さんは慾ばつてるからキツト嘘をつくせ、五百兩なんて金は取らねえといつても、全く胴巻へ入れて腹へ締めて居るから事に依つたら腕ツツで取んなせえ」

一冊の代金で御希望通りな

五冊の雑誌が自由に讀める

川崎巡文庫

(申込次第規則書進呈)

今曉近火の際は早速御馳付消火に御盡力被下且つ御見舞を辱し御蔭を以つて類焼を免れ候段厚く御禮申上候實は一々拜趨御禮可申上等の處混雜の折柄御尊名御洩れも有之可く乍略儀以紙上御禮申上候

九月二十八日

新川町 橋本屋神佛具店

眞根井藤馬

同 吉田屋染工場

馬目武之助

六丁目 木村外科醫院

木村淳

今曉近火の際は早速御見舞下され御芳情難有奉深謝候御蔭様にて類焼を免れ候間厚く御禮申上候一々拜趨御禮申上ぐべき筈の處混雜の折柄御尊名相伺ひ洩れ可之有以紙上御厚禮申上候

九月二十八日

合資 松崎硝子製作所

電話一四二番 松崎菊三郎

大室屋

松崎長三郎

赤津千里

新家芳美

新川町 丹野慶次郎